

4 歳児から

1 あおくんときいろちゃん

レオ・レオーニ/作 藤田圭雄/訳 至光社

主人公は青と黄色のまる。ある日、お留守番を頼まれたあおくんが、どうしてもきいろちゃんに会いたくて、遊びに出かけてしまいます。夢と感動にあふれるお話。

読んだ日

年 月 日

メモ



2 いたずらかんしゃちゅうちゅう

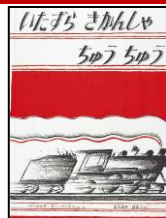
バージニア・リー・パートン/文・絵 村岡花子/訳 福音館書店

かわいい機関車のちゅうちゅうの仕事は、たくさんの人や荷物を乗せて走ること。ある日、みんなの注目を集めたくて、ひとりりで走り出します。子どもの冒険心にぴったりの絵本。

読んだ日

年 月 日

メモ



3 おおかみと七ひきのこやぎ

グリム/作 フェリクス・ホフマン/絵 瀬田貞二/訳 福音館書店

「おおかみを家に入れないよう注意下さい」お母さんやぎはこやぎたちにそう言って出かけていきます。そこへおおかみがやって来て……。有名なグリム童話の名作。

読んだ日

年 月 日

メモ



4 おだんごぱん

ロシア民話 瀬田貞二/訳 脇田和/絵 福音館書店

かまどからとび出したおだんごぱんは、食べられないようにおじいさん、おばあさんや動物たちから、次々と逃れていきますが……。歌いながら楽しむお話。

読んだ日

年 月 日

メモ



5 おふろだいすき

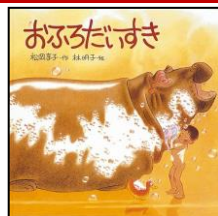
松岡享子/作 林明子/絵 福音館書店

ぼくは、いつもあひるのプッカを連れてお風呂に入ります。ぼくが体を洗っていると、かめやペンギン、オットセイやくじらまで登場して……。お風呂が持ち遠くなるお話。

読んだ日

年 月 日

メモ



6 めるんぱのようちえん

西内ミナミ/作 堀内誠一/絵 福音館書店

めるんぱは、ひとりぼっちの大きなぞう。様々な仕事場で働きますが、作るものが大きすぎて失敗ばかり。ある日、子どもたちの世話を頼まれためるんぱが作った素敵なものとは？

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



7 げんきなマドレーヌ

ルドウィッヒ・ベームルマンズ/作・画 瀬田貞二/訳 福音館書店

パリの寄宿学校に12人の女の子が暮らしていました。その中でも一番元気なのがマドレーヌ。ところがある晩、マドレーヌが泣きわめき始めます。パリの香りいっぱいの絵本。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



8 こぶじいさま

松居直/再話 赤羽末吉/画 福音館書店

ひたいに大きなこぶのあるおじいさんが、山のお堂で寝ていると、夜中に鬼が大勢やってきて……。やわらかい色調で描かれた絵本。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



9 こわくないこわくない

内田麟太郎/ぶん 大島妙子/絵 童心社

まーくんはこのごろ反対のことばかり言います。だから、夢でおばけに会ったときも、「こわくないこわくない」とがんばります。でも……。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



10 三びきのこぶた

イギリスの昔話 瀬田貞二/訳 山田三郎/画 福音館書店

貧しいこぶたの3兄弟が、それぞれの家を作ります。最初のこぶたはワラで、2番目のこぶたは木の枝で。ところが、オオカミがやってきて、2つの家をふき飛ばしてしまいます。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



4歳児から

11 三びきのやぎのがらがらどん

ノルウェーの昔話 マーシャ・ブラウン/絵 瀬田貞二/訳 福音館書店

たくさん草を食べようと考えた3匹のやぎと、谷に住むトルル(おに)が対決するお話。勇気をもって立ち向かうことを教えてください。

読んだ日

年 月 日

メモ



12 しょうぼうじどうしゃじふた

渡辺茂男/作 山本忠敬/絵 福音館書店

道がせまい山の中で火事が起こりました。いつも「ちびっこ」扱いされていた小さな消防自動車じふたが出動を命じられます。スピード感あふれる文と絵は、子どもたちにも大人気。

読んだ日

年 月 日

メモ



13 そらいろのたね

中川李枝子/文 大村百合子/絵 福音館書店

ゆうじか野原で模型飛行機を飛ばしていると、きつねがやってきて「そらいろのたね」と模型飛行機を交換することになりました。そのたねが大きく育って……。

読んだ日

年 月 日

メモ



14 てぶくろ

ウクライナ民話 エウゲーニー・M・ラチョフ/絵 内田莉紗子/訳 福音館書店

雪の上に落ちていた手袋にネズミが住みこみました。そこへ、次々と動物たちがやって来て、「わたしも入れて」「ほくも入れて」と仲間入り。話の展開にドキドキする絵本。

読んだ日

年 月 日

メモ



15 どろんこハリー

ジーン・ジョン/文 マーガレット・ブロイ・グレアム/絵 渡辺茂男/訳 福音館書店

ハリーは、お風呂が大嫌い。ある日、泥だらけ、すすだらけになったハリーが家に戻ると、誰もハリーと分かってくれません。がっかりしたハリーがとった行動は？

読んだ日

年 月 日

メモ



16 パンのかけらとちいさなあくま

リトアニア民話 内田莉紗子/再話 堀内誠一/画 福音館書店

貧乏なきこりからパンのかけらを盗んだ小さな悪魔。そのおわりに、沼地を麦畑に変えることにしました。知恵を働かせ、富をもたらす小悪魔のお話。

読んだ日

年 月 日

メモ



17 100 まんびきのねこ

ワンダ・ガアグ/文・絵 石井桃子/訳 福音館書店

1匹のねこがほしいおじいさんは、100 まんびきのねこがいる丘を見つけます。そこで、おじいさんとおばあさんは、どのねこを家に置かかをねこたちに決めさせようと思いますが……。

読んだ日

年 月 日

メモ



18 ペレのあたらしいふく

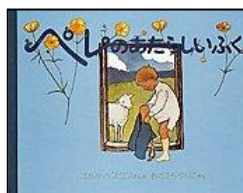
エルサ・ベスコフ/作・絵 小野寺百合子/訳 福音館書店

子羊の毛から、たくさんの人の協力を得て作られた新しいペレの服。それぞれの工程とペレのお返しの労働が、美しい自然を背景に生き生きと描かれます。

読んだ日

年 月 日

メモ



19 もりのなか

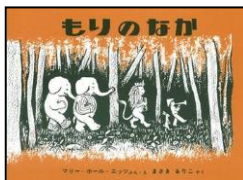
マリー・ホール・エッツ/文・絵 間崎ルリ子/訳 福音館書店

「ぼく」は紙の帽子をかぶり、新しいラッパを持って森へ散歩に出かけます。森の中では、いろいろな動物たちに出会います。「ぼく」といっしょに森の中を探検できるお話。

読んだ日

年 月 日

メモ



20 わゴムはどのくらいのびるかしら

マイク・サーラー/文 ジェリー・ジョイナー/絵 岸田衿子/訳 ほるぷ出版

ある日、ぼうやは、わゴムがどのくらいのびるか、試してみることになりました。部屋の外に出て、自転車に乗って、バスに乗って……。子どもの想像力をかきたてる絵本。

読んだ日

年 月 日

メモ



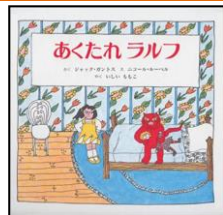
5歳児から・・・・・・・・・・・・・・・・

21 あくたれラルフ

ジャック・ガントス/作 ニコール・ルーベル/絵 いしいもこ/訳 童話館出版

ラルフは、セイラの猫です。相当なあくたれで、みんなを困らせたり、怒らせたり……。それでも、セイラは、ラルフが大好き。いたずらがやまないときに、読みたい一冊。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



22 アンガスとあひる

マージョリー・フラック/作・絵 瀬田貞二/訳 福音館書店

好奇心旺盛な子犬のアンガス。中でも一番知りたがったのは、庭の生垣の向こうから聞こえてくる、やかましい音の正体。生垣の下をくぐってみると、そこにいたのは2羽のあひるでした。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



23 うまかたやまんば

小澤俊夫/再話 赤羽末吉/画 福音館書店

荷物運ぶ馬方が、山道でやまんばに出会い、積み荷の糸から馬まで奪われてしまいます。馬方の必死の仕返しとは？はらはら、ときどきの連続です。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



24 おやすみなさいフランス

ラッセル・ホーバン/文 ガース・ウィリアムズ/絵 松岡享子/訳 福音館書店

夜7時は、フランスの寝る時間。ミルクを飲み、お休みのキスをして、ベッドに入りますが、ちっとも眠くなりません。フランスは無事に眠りにつくことができるのでしょうか？

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



25 かもさんおとおり

ロバート・マックロスキー/文・絵 渡辺茂男/訳 福音館書店

アメリカ、ボストンの町で起こった、鴨の家族のお引越し。鴨たちは一列になって町の中を歩き出しました。おまわりさんは自動車を止めて交通整理。パトカーまで出動です。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



26 くいしんぼうのはなこさん

石井桃子/文 中谷千代子/絵 福音館書店

はなこは、とてもわがままな子牛。ごちそうばかり食べていたため、おなかがアド/バレーンのようにふくらんで、大変なことに……。のどかな牧場の物語。

読んだ日

年 月 日

メモ



27 くわずにようぼう

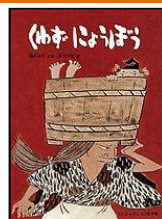
稲田和子/再話 赤羽末吉/画 福音館書店

よく働くが飯を食わない女房がほしい、そんな欲ばり男の所へ本当に飯を食わない嫁がきましたが……。力強い絵が読者を昔話の世界に誘います。

読んだ日

年 月 日

メモ



28 こいぬがうまれるよ

ジョアンナ・コール/文 ジェローム・ウェクスラー/写真 坪井郁美/訳 福音館書店

生まれたばかりの子犬が、成長していく姿をとらえたアメリカのロングセラー写真絵本。小さな生命が誕生するすばらしさを伝えます。

読んだ日

年 月 日

メモ



29 こすずめのぼうけん

ルース・エインズワース/作 石井桃子/訳 堀内誠一/画 福音館書店

こすずめは、お母さんから飛び方を教わりました。そして、初めて大空を飛んだとき、こすずめは遠くまで飛びすぎてしまいました。やがてあたりは暗くなって……。

読んだ日

年 月 日

メモ



30 11ぴきのねこ

馬場のぼる/作 こぐま社

11ぴきのねこたちは、いつもおなかかべこべこ。ある日、ねこたちは湖にやってきて、大格闘の末、やっと怪魚を生け捕ります。あっと驚くどんでん返しが大人気。

読んだ日

年 月 日

メモ



5歳児から

31 すてきな三にんぐみ

トミー・アンゲラー/作 今江祥智/訳 偕成社

黒いマントの泥棒三人組。夜になると武器を構え、お金持ちの馬車を襲い、宝を奪いとっていきます。ところが、女の子との出会いで生活が変わります。

読んだ日

年 月 日

メモ



32 せんたくかあちゃん

さとうわきこ/作・絵 福音館書店

洗濯が大好きなかあちゃん。子どもたち、猫や犬、靴や傘までも、洗濯してしまいます。干されている子どものへそを狙ってやってきたのは……。たくましいかあちゃんのお話。

読んだ日

年 月 日

メモ



33 トラのじゅうたんになりたかったトラ

ジェラルド・ローズ/文・絵 ふしみさを/訳 岩波書店

やせこけたトラは、宮殿の広間で楽しそうにごはんを食べている王様一家が、うらやましくてたまりません。ある日、トラは、とんでもないことを思いつきます。

読んだ日

年 月 日

メモ



34 ねむりひめ

グリム/作 フェリクス・ホフマン/絵 瀬田貞二/訳 福音館書店

子どもがいない王さまとお妃さまのもとに、待望の女の子が生まれますが、いばらの生い茂る城の塔にとじこめられることに……。構図と繊細なタッチがすばらしい絵本。

読んだ日

年 月 日

メモ



35 のろまなローラー

小出正吾/作 山本忠敬/絵 福音館書店

ローラーが、重い車をごろごろ転がしながら道を直していると、スピードの速い自動車が次々に追いこしていきます。みんなのために着実に仕事をこなすローラーのお話。

読んだ日

年 月 日

メモ



36 はじめてのおつかい

筒井頼子/作 林明子/絵 福音館書店

みいちゃんはママに頼まれて牛乳を買いに出かけます。それは初めてののおつかい。ちゃんと牛乳が買ってこられるかな？小さな女の子の心の動きを鮮やかに描いた絵本。

読んだ日 年 月 日 メモ



37 はちうえはぼくにまかせて

ジーン・ジョン/作 マーガレット・ブレイ・グレアム/絵 森北志/訳 ペンギン社

少年トミーは、近所の人たちの鉢植えを預かって世話をするアルバイトを思いつきます。預かった鉢植えの植物たちは、トミーの上手なお世話のおかげでぐんぐん成長して……。

読んだ日 年 月 日 メモ



38 はなのあなのはなし

柳生弦一郎/作 福音館書店

上を向いて鼻の穴を見せて！ユーモラスな絵と文で鼻の穴の役割について、詳しく知ることができます。科学絵本としても優れた一冊。

読んだ日 年 月 日 メモ



39 ゆきのひ

エズラ・ジャック・キーツ/作・絵 木島始/訳 偕成社

雪が積もった朝、ピーターは外へ飛び出しました。雪で遊んだ喜びと感動を描いた作品。貼り絵の技法が効果的で、心に余韻の残る美しい絵本。

読んだ日 年 月 日 メモ



40 ラチとらいおん

マレーク・ペロニカ/文・絵 徳永康元/訳 福音館書店

ラチは世界でいちばん弱虫です。そんなラチのところに小さな赤いライオンがやってきました。ラチはライオンがそばにいてくれることで、少しずつ強くなっていく……。

読んだ日 年 月 日 メモ



6 歳児から

41 あかてぬぐいのおくさんと7にんのなかま

イヨンギョン/文・絵 神谷丹路/訳 福音館書店

針仕事の上手な奥さんが眠ったときに、7つの道具たちが自分の自慢を始めました。騒ぎで目を覚ました奥さんは、私が一番だと怒りますが……。仲間の大切さを伝えてくれる絵本。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----

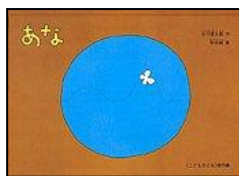


42 あな

谷川俊太郎/作 和田誠/画 福音館書店

日曜日の朝、何もすることがなかったので、ひろしは穴を掘り始めます。ひろしは思います。「これはぼくのあなだ」そして、穴から出たひろしは……。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



43 アンディとらいおん

ジェームズ・ドーハーティ/文・絵 村岡花子/訳 福音館書店

図書館からライオンの本を借りてきたアンディは、寝ても覚めても、頭の中はライオンのことばかり。そんなアンディの目の前に、本物のライオンが飛び出してきて……。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



44 王さまと九人のきょうだい

中国の民話 君島久子/訳 赤羽末吉/絵 岩波書店

子どものいないおじいさんとおばあさんの所に、ある日9人も赤んぼうが生まれました。王さまが出す難題を、きょうだいが力を合わせて解決します。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



45 おおきくなりすぎたくま

リンド・ワード/文・画 渡辺茂男/訳 ほるぷ出版

少年が森から連れてきたこぐまは、どんどん成長して村を荒らすようになります。そこで少年は、このくまを森に帰そうとしますが……。くまと少年の心のふれあいが感動的な絵本。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



46 おっきょちゃんとかっぱ

長谷川摂子/文 降矢奈々/絵 福音館書店

カッパの家の子どもになって、楽しく暮らしていたおっきょちゃん。ある時、急に家を思い出し帰りたいくなりました。はたして人間の世界に戻る方法は？

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



47 かにむかし

木下順二/文 清水崑/絵 岩波書店

カニが、拾った柿のたねをまいて育てたら、実がいっぱいになりました。そこへサルがやってきて……。リズムカルな再話とのびやかな墨の絵が楽しい絵本。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



48 きつねのホイティ

シビル・ウェッタシン/作 松岡享子/訳 福音館書店

きつねのホイティが、村の奥さんをだましてごちそうになります。でも、実は奥さんたちにはきつねであることはお見通し。ユーモアのある挿絵も楽しいスリランカの絵本。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



49 くまのコールテンくん

ドン・フリーマン/作 まつおかきょうこ/訳 偕成社

デパートのおもちゃ売場にいるくまの人形コールテンくん。彼を一目で好きになり、自分の貯金をはたいて買いに行く女の子との心のふれあいを描いた作品。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



50 子うさぎましろのお話

佐々木たづ/文 三好碩也/絵 ポプラ社

サンタクロースからもらったおかしを食べてしまった子うさぎのましろ。もう一つプレゼントをもらいたくて、体に炭をこすりつけ、別のうさぎになりますますが……。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



6歳児から・・・・・・・・・・・・・・・・

51 サリーのこけももつき

ロバート・マックロスキー/作・絵 石井桃子訳 岩波書店

こけももをつみにお母さんと山へ行ったサリー。山の反対側では、くまの親子もこけももを食べにきていました。サリーとくまはお母さんからはぐれてしまい……。

読んだ日

年 月 日

メモ



52 ちいさいおうち

バージニア・リー・パートン/文・絵 石井桃子/訳 岩波書店

静かな田舎に小さいおうちが建っていました。やがて、おうちの周りに道路や建物ができ、町になっていきます。絵を見ていだけで、温かい気持ちになる作品。

読んだ日

年 月 日

メモ



53 チムとゆうかなせんちょうさん

エドワード・アーディゾーニ/作 瀬田貞二/訳 福音館書店

船乗りになりたいチムは、こっそり船に乗り込み、船員として働き始めました。そんなある夜、船が嵐で座礁してしまいます。チムと船長が絶死闘を覚悟したそのとき……。

読んだ日

年 月 日

メモ



54 時計づくりのジョニー

エドワード・アーディゾーニ/作 阿部公子/訳 こぐま社

ジョニーは手先が器用で物作りが大好きな男の子。「大時計のつくりかた」という本を読むうちに、自分も作る決意をします。周りのみんなは「できこない!」と言いますが……。

読んだ日

年 月 日

メモ



55 はなのすきなうし

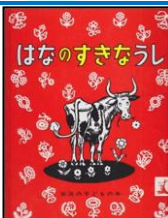
マンロー・リーフ/文 ロバート・ローソン/絵 光吉夏弥/訳 岩波書店

むかしスペインの国に、花の好きなフェルジナンドという子牛がいました。ある日、牛買いたちがやってきて、フェルジナンドをマドリードの闘牛場へ連れていきました。

読んだ日

年 月 日

メモ

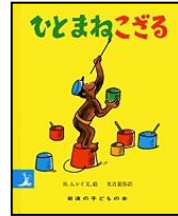


56 ひとまねこざる

H. A. レイ/文・絵 光吉夏弥/訳 岩波書店

知りたがりやのこざるのジョージは、動物園の外が知りたくて、おりから逃げ出します。見るもの、聞くもの、さわるもの全てが珍しくて……。明るい色使いが特徴的な絵本。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



57 ふしぎなたけのこ

松野正子/作 瀬川康男/絵 福音館書店

山奥の村に住む男の子たろが、たけのこを掘りに行くと、たけのこはたろをのせたままぐんぐん伸びて……。横長の絵が絵巻のように展開する絵本。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



58 マイク・マリガンとスチーム・ショベル

バージニア・リー・パートン/作・絵 いしいももこ/訳 童話館出版

マイク・マリガンとスチーム・ショベルのメアリー・アンは、長い間いっしょに仕事をしてきました。ところが、新式の機械が活躍するようになり、彼らの仕事を取り上げてしまいます。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



59 やまなしもぎ

平野直/再話 太田大八/画 福音館書店

病気のお母さんに食べさせようと、山なしもぎに出かける三人の兄弟。ところが上の二人は沼のぬしに吞まれ、とうとう三郎の番に……。秋の山の景色が美しい絵本。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



60 ロバのシルベスターとまほうの小石

ウィリアム・スタイグ/作 せたていじ/訳 評論社

ある日、ロバのシルベスターは、のぞみがかのう、まほうの小石を拾い、大喜びで家に帰ります。ところが、その途中に、ライオンに出会ってしま……。

読んだ日	年 月 日	メモ
------	-------	----



ジャンル別 おすすめ絵本 【ことばの本】

61 かずあそび ウラパン・オコサ

谷川晃一/作 童心社

1はウラパン、2はオコサ、3がウラパン・オコサと数える、ちょっと変わった数遊び絵本。やわらかな色彩の絵と言葉が、不思議な世界へと誘います。

読んだ日 年 月 日 メモ



62 ことばあそびうた

谷川俊太郎/詩 瀬川康男/絵 福音館書店

軽快でおもしろい「ことばあそびうた」が15編収められた絵本。声の高さを変えて、リズムを変えて、いろいろな読み方で楽しむことができます。

読んだ日 年 月 日 メモ



63 これはのみのぴこ

谷川俊太郎/作 和田誠/絵 サンリード

「これはのみのぴこ」から始まって、次々に展開していく言葉遊び。ページをめくると言葉が積み重なっていき、どんどん長い文章に……。

読んだ日 年 月 日 メモ

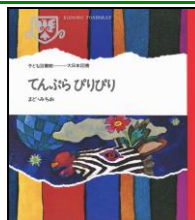


64 てんぷらぴりぴり

まど・みちお/作 杉田豊/絵 大日本図書

「そうさん」をはじめとして、子どもたちに多くうたわれている童謡詩人のまどみちおさんが、初めて出版した詩集。身近なものを題材に、軽快に、時にユーモラスに描きます。

読んだ日 年 月 日 メモ

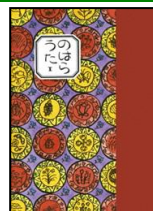


65 のはらうた I～V

くどうなおこ/作 童話屋

作者は、詩人のくどうなおこさん。くどうさんが、のほら散歩していると、かまきりやみのむしや風が、うたをうたっています。それらのうたをまとめた作品。

読んだ日 年 月 日 メモ



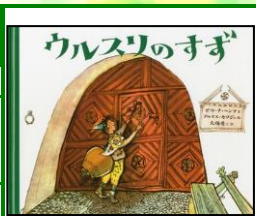
ジャンル別 おすすめ絵本 【世界のおはなし】

66 ウルスリのすず

ゼリーナ・ヘンツ/文 アロイス・カリジエ/絵 大塚勇三/訳 岩波書店

アルプスの山奥に住む元気な男の子ウルスリ。明日はすすり列のおまつりの日。おまつりに一番大きなすずを持ちたかったウルスリですが……。

読んだ日 年 月 日 メモ



67 おばけリンゴ

ヤーノシュ/作・絵 矢川澄子/訳 福音館書店

ワルターさんが育てるリンゴの木には、ちっとも実がなりません。「ひとつでいいから実がなりますように」と願っていると、やっとひとつだけ実がなりますが……。

読んだ日 年 月 日 メモ

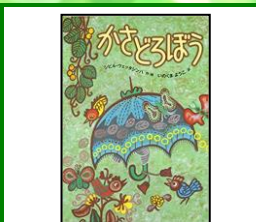


68 かさどろぼう

シビル・ウェッタシン/作・絵 いのくまようこ/訳 徳間書店

町で生まれて初めてかさを見たおじさんは、喜んで村へ買って帰りました。ところが、何度かさを買っても、盗まれてしまいます。スリランカの小さな村が舞台のユーモラスなお話。

読んだ日 年 月 日 メモ



69 ガラスめだまときんのつなのヤギ

ベラルーシ民話 田中かな子/訳 スズキコージ/画 福音館書店

おばあさんが大切に育てた麦畑にヤギが入り込んで、食べ散らしてしまいました。おばあさんを助けようと、クマやオオカミも登場してヤギを追い出そうとしますが……。

読んだ日 年 月 日 メモ

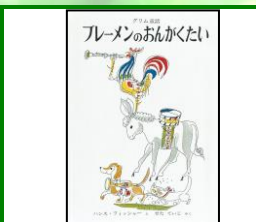


70 ブレーメンのおんがくたい

グリム/作 ハンス・フィッシャー/絵 瀬田貞二/訳 福音館書店

飼い主に見放されたロバとイヌとネコとオンドリ。町の音楽隊に入ろうとそろって出かけます。しかし、途中で日が暮れて、やっとたどり着いたのは、どろぼうの家でした。

読んだ日 年 月 日 メモ



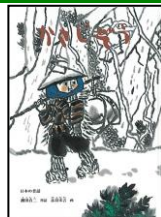
ジャンル別 おすすめ絵本 【日本のおはなし】

71 かさじぞう

瀬田貞二/再話 赤羽末吉/画 福音館書店

じいさんは、正月の餅を買うために、笠を五つ持って町に売りに出かけましたが、さっぱり売れません。その帰り道、野原に立っているお地蔵さまに雪が積もっているのを見て……。

読んだ日 年 月 日 メモ



72 さるとかに

神沢利子/文 赤羽末吉/絵 B.L.出版

柿のたねを拾ったさるは、かにかが拾ったおむすびが食べたくて、交換することになりました。かにかが世話をすると、柿の実がいっぱい実って、かには大喜び。ところが……。

読んだ日 年 月 日 メモ



73 つるにようぼう

矢川澄子/再話 赤羽末吉/画 福音館書店

傷を負った鶴を助けた心やさしい青年、よ平。そんな彼ののもとに、鶴が美しい娘となって恩返しにやってきます。そうとは知らないよ平は、……。若者と鶴との哀しい物語。

読んだ日 年 月 日 メモ



74 手ぶくろを買いに

新美南吉/作 黒井健/絵 偕成社

きつねの親子の住んでいる森に冬がやってきました。母ぎつねは、雪でまっかん色になった子ぎつねの手にあう毛糸の手袋を買ってやろうと思います。心温まる作品。

読んだ日 年 月 日 メモ



75 ふるやのもり

瀬田貞二/再話 田島征三/絵 福音館書店

おおかみより怖いと言われる「ふるやのもり」をこわがる泥棒と、泥棒より怖いと言われる「ふるやのもり」をこわがるおおかみ。さて「ふるやのもり」の正体は？

読んだ日 年 月 日 メモ



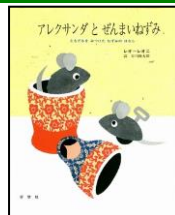
ジャンル別 おすすめ絵本 【家族・友達の絵本】

76 アレクサンダとぜんまいねずみ

レオ＝レオニ/作 谷川俊太郎/訳 好学社

子どもにちやみよされるおもちゃのぜんまいねずみがうらやましくて仕方がないねずみのアレクサンダ。ある日、アレクサンダは願いを叶えてくれる虹色のとかがびと出会う……。

読んだ日 年 月 日 メモ



77 くんちゃんのはじめてのがっこう

ドロシー・マリノ/作・絵 間崎ルリ子/訳 ペンギン社

こぐまのくんちゃんは、今日から小学1年生。学校へ行くのがうれしくてたまらないくんちゃんでしたが、授業が始まると不安になり、教室を飛び出してしまう。

読んだ日 年 月 日 メモ



78 しろいうさぎとくろいうさぎ

ガース・ウィリアムズ/文・絵 松岡享子/訳 福音館書店

しろいうさぎとくろいうさぎは、毎日いっしょに遊んでいました。でも、くろいうさぎは時々悲しそうな顔で考えこんでいます。心配になったしろいうさぎがたずねると……。

読んだ日 年 月 日 メモ

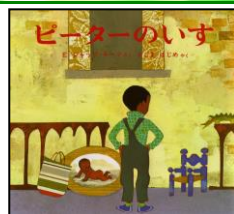


79 ピーターのいす

エズラ・ジャック・キーツ/作・絵 木島始/訳 偕成社

妹の誕生によって、ゆりかごもおもちゃも愛着をもっていた自分のものが、次々と妹のものになっていきます。幼児の心の成長を描いた作品。

読んだ日 年 月 日 メモ



80 みんなのペロニカ

ロジャー・デュボアザン/作・絵 神宮輝夫/訳 童話館出版

動物園から農場にやってきたかばのペロニカ。はじめは広くて池もあってと喜んでたペロニカでしたが、たくさんの動物たちに受け入れてもらえず、病気になるてしまいます。

読んだ日 年 月 日 メモ



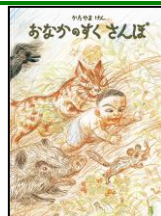
ジャンル別 おすすめ絵本 **【動物の絵本】**

81 おなかのすくさんぽ

片山健/作 福音館書店

ぼくが動物たちと水たまりで遊んでいたら、クマが言いました。「なんだか、きみは、おいしそうだねえ」土や水や動物たちと戯れる子どものエネルギーに満ちた絵本。

読んだ日 年 月 日 メモ



82 ぞうのババール

ジャン・ド・ブリュノフ/作 やがわすみこ/訳 評論社

森で悪い狩人におそわれ、逃げ出したぞうのババール。どんどん逃げて、町にたどりつきます。町には初めて見るものばかりで、ビックリの連続。ぞうのババールのゆかいな冒険の物語。

読んだ日 年 月 日 メモ

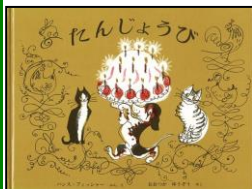


83 たんじょうび

ハンス・フィッシャー/文・絵 大塚勇三/訳 福音館書店

リゼットおばあちゃんは、たくさんの動物たちと幸せに暮らしています。今日は、おばあちゃんの76才の誕生日。動物たちが誕生日のお祝いをしようと大奮闘します。

読んだ日 年 月 日 メモ



84 二ひきのこぐま

イーラ/作 松岡享子/訳 こぐま社

冬眠から覚めた二ひきのこぐまが、母さんの言いつけを忘れて遊んでいるうちに、迷子になってしまいます。美しいモノクロ写真で綴るこぐまの冒険物語。

読んだ日 年 月 日 メモ



85 みんなうんち

五味太郎/作 福音館書店

大きいぞうは、大きいうんち。小さいねずみは、小さいうんち。子どもにとって興味のある、そして大事な「うんち」が、ユーモアいっぱい絵本になりました。

読んだ日 年 月 日 メモ



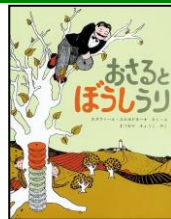
ジャンル別 おすすめ絵本 【ユーモア絵本】

86 おさとぼうしうり

エズフィール・スロポドキーナ/作・絵 松岡享子/訳 福音館書店

帽子売りが寝違中、サルの群に帽子を盗られてしまいました。取り戻そうとしても、サルは高い木の上で帽子売りをからかうばかり。帽子売りは、どうやって帽子を取り戻すのでしょうか？

読んだ日 年 月 日 メモ

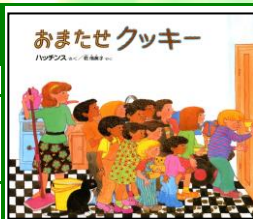


87 おまたせクッキー

パット・ハッチンス/作 乾侑美子/訳 偕成社

おやつにお母さんが焼いたクッキーを食べようすると、玄関のベルが鳴り、友達が遊びにきました。食べようすると、またベルが鳴り、友達が次々に増えて……。

読んだ日 年 月 日 メモ

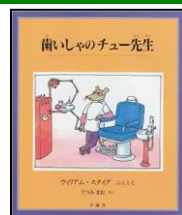


88 歯いしゃのチュー先生

ウィリアム・スタイグ/作 うつみまお/訳 評論社

ネズミのチュー先生は腕利きで、どんなむし歯も治します。でも、危険な動物の治療はしません。ところがある日、キツネの紳士が痛む歯をおさえて立きながらやってきて……。

読んだ日 年 月 日 メモ



89 ベーコンわすれちゃだめよ！

パット・ハッチンス/作 わたなべしげお/訳 偕成社

男の子がおつかいを頼まりました。買ってくるものは、たまご6個とケーキ、なし、それからベーコン。忘れないように、名前を繰り返していると……。ユーモアたっぷりの絵本。

読んだ日 年 月 日 メモ



90 わにさんどきっ はいしゃさんどきっ

五味太郎/作・絵 偕成社

虫歯が痛いわにさんと治療をする歯医者さん。異なるはずのそれぞれの気持ちを、見事に同じ言葉で表現します。絵をヒントに読み進めるゆかいな絵本。

読んだ日 年 月 日 メモ



ジャンル別 おすすめ絵本 **【知識・科学の絵本】**

91 かぶとむしはどこ？

松岡達英/作 福音館書店

かぶとむしの卵は、一週間ほどで幼虫になり、翌年の夏、成虫になって地上に出ます。子どもたちが大好きなかぶとむしの一生を感動的に伝える作品。

読んだ日

年 月 日

メモ



92 これがほんとの大きさ！

スティーブ・ジェンギンズ/作 佐藤見果夢/訳 評論社

ゴリラの手、ワニの口、トラの顔、ダチョウの卵、……。どれくらいの大きさでしょう？絵は全部実物大。本当の大きさに思わず目をみはります。

読んだ日

年 月 日

メモ



93 トマトのひみつ

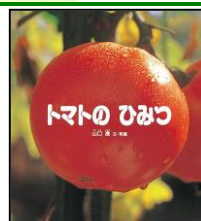
山口進/文・写真 福音館書店

トマトは、虫を寄せつけない不思議な力をもっています。トマト畑に巣を張ったクモと昆虫たちのドラマを写真で展開。トマトのひみつを解き明かします。

読んだ日

年 月 日

メモ



94 とりになったきょうりゅうのはなし 改訂版

大島英太郎/さく 福音館書店

絶滅したとされている恐竜。実は、姿を変えて今も生きています。それは鳥です。恐竜はどのようにして鳥に姿を変えたのか分かる科学絵本。

読んだ日

年 月 日

メモ



95 わたし

谷川俊太郎/文 長新太/絵 福音館書店

わたしは山口みち子、5才。お兄ちゃんからみると「妹」で、先生からみると「せいと」。犬からみれば「人間」。わたしは一人なのに呼び名はいっぱい。初めての哲学絵本。

読んだ日

年 月 日

メモ



ジャンル別 おすすめ絵本 【絵本から童話へ（幼年童話）】

96 あおい目のこねこ

エゴン・マチーセン/作・絵 瀬田貞二/訳 福音館書店

あおい目のこねこが、ねずみのくにを探して冒険に出かけました。でも、誰もねずみのくにを知りません。はたしてねずみのくにを見つけられるのでしょうか？

読んだ日 年 月 日 メモ



97 いやいやえん

中川李枝子/作 大村百合子/絵 福音館書店

主人公は元気だけれど、わがままできかんぼうの保育園児のしげる。なんでもいやだ、いやだと駄々をこねるしげるが、「いやいやえん」に連れてこられます。

読んだ日 年 月 日 メモ



98 くまの子ウーフ

神沢利子/作 井上洋介/絵 ポプラ社

遊ぶこと、食べること、そして、考えることが大好きなくまの子ウーフ。今日もウーフの「どうして？」が聞こえてきます。ウーフの疑問に共感しながら読める作品。

読んだ日 年 月 日 メモ



99 こぐまのくまくん

E・H・ミナリック/文 松岡享子/訳 モーリス・センダック/絵 福音館書店

「何でもひとりりてやってみたい」、「でもお母さんには甘えたい」そんなくまちゃんと、お母さんくまのやりとり思わず顔がほころびます。4話を収録。

読んだ日 年 月 日 メモ



100 ふたりはいっしょ

アーノルド・ローベル/作 三木卓/訳 文化出版局

がまくとかえるくんの物語。「よていひょう」、「はやくめをだせ」、「クッキー」、「こわくないやい」、「がまくんのゆめ」の5話を収録。

読んだ日 年 月 日 メモ

